

A-37 熊本産いちごのビタミンC及び糖度測定

熊本大教育 ○緒方ミカド
二宮 照子

1. いちごは果物中で最もビタミンCを多量に含有する。その適度の甘味と、酸味は万人に好まれ、生産量も近年甚しく増加し、専ら大衆向果物となった。そこで熊本産いちごのビタミンC定量及び、糖度測定を試みた。なおビニール栽培と露地栽培の比較や、凍結保存によるこれらの変化等、目下集計中である。

2. ビタミンC定量は、2,4-ジニトロフェニールヒドラジン法により、日立分光光度計を用いて波長540m μ における吸光度を測定した。糖度はアタゴ光学機械製作所のアタゴ手持屈折計糖業用100型を使用した。検体は、直接産地より入手したり、また市販のものと比較検討した。冷凍庫は日立製R F 4001を使用した。

3. 品種数種、栽地数カ所を平均し、熊本産いちごの糖度は7.3程度であり、ビタミンC含量は70mg/100g前後であった。ビニール栽培と露地栽培では、ビニール栽培が露地栽培より糖度はやや上まわり、ビタミンCは顕著な差はみとめなかった。初期採取のいちごは、後熟性が顕著にあらわれたが、晩期採取には後熟性はなかった。